

ベッドや椅子からは注意して 立ち上がりましょう



急に立ち上がるとふらつきます。注意してゆっくりと起き上がってからふらつかない事を確認し、立ち上がりましょう。

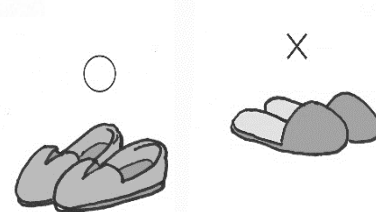
筋力が落ちていませんか

ベッド上での生活が長くなると足の筋力が予想以上に低下します。筋力アップを目的とした歩行練習や足の指、足首、膝の運動が有効です。



スリッパやサンダルは危険です

かかとの無い履物は、脱げやすいです。履物は



履きなれている物やゴムのかかとのある履物できちんと履いて歩きましょう。

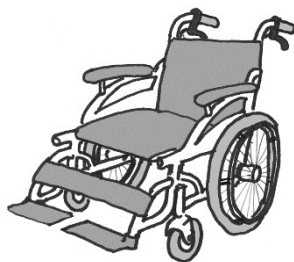
ベッドや車いすから身を乗り出すと転落のがあります

落ちた物を拾うときや無理な体勢でベッドから身を乗り出すと転落します。ナースコールでスタッフを呼びましょう。



車椅子に乗り降りする時は注意しましょう

必ずブレーキを掛けましょう。足を乗せる(フットレスト)所に立つととても危険です。車椅子には深く座り、乗った後にフットレストに足を乗せましょう。車椅子から降りる時はフットレストを必ず



転倒・転落防止パンフレット

～こんな時に転びやすくなります～

入院生活は、生活環境や病気、けがによる体力や運動機能の低下により、ご自身が思っている以上に転びやすくなります。また、特に次のようなことに注意をお願い致します。ご心配なことがありましたら遠慮なく看護師や担当医にご相談ください。

睡眠剤や精神安定剤服用時は ふらつくことがあります

トイレは服用前に済ませましょう。夜間トイレに起きた時は、安全のためにナースコールでスタッフにお知らせください。



点滴スタンドやオーバーテーブル等、車輪がついているものの支えは危険です

点滴スタンドなど、車輪がついているもの、簡単に動くものに体重をかけると危険です。手すり・ベッド柵や杖を利用しましょう。

コード類や段差等には注意しましょう

点滴・酸素・チューブに足が引っかかりやすくなったり、ちょっとした段差にもつまずきやすくなります。



みさき病院
医療安全管理委員会